

音楽 I レポート		西洋音楽史（バロック）		教科書 『高校生の音楽 I』		A 表現（器楽）ア、イ（ア）、ウ（ア） B 鑑賞ア（ア）（イ）（ウ）、イ（ア）（イ）	
						P.63 音楽って何だろう？（リズム） P.74 メヌエット ト長調 P.120 西洋音楽史 バロック① P.122 西洋音楽史 バロック②	
提出日	月 日	氏名		得点		評価	

① 「西洋音楽史」の「バロック①」(教 P.120) について、次の問いに答えよう。

1) バロックについて、次の文章を完成させよう。[知]

(各 2 点=10 点)

バロックは「(ア) 真珠」を意味し、当初は装飾過剰な建築を揶揄する言葉として使われたが、後にこの時代の音楽や(イ)の様式を指すようになった。17 世紀には音楽家の活動の場は教会だけでなく(ウ)にも広がった。声楽では(エ)やオラトリオ、カンタータなど、器楽では(オ)などのさまざまなジャンルが、それぞれ誕生して発展した。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

(各 2 点=10 点)

2) バロック時代のオペラや音楽家についての説明として、正しいものには空欄に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを空欄に記入しよう。[知]

ア 音楽サークル「カメラータ」の結成が、オペラの始まりである。

イ 「カメラータ」は、イタリアのベネツィアに集った知識人で結成された。

ウ オラトリオ《オルフェオ》は、モンテヴェルディの代表作である。

エ 17 世紀のヨーロッパでは、多くの音楽家はパトロンの雇われていた。

オ オペラの音楽には、合唱と器楽伴奏からなるモノディー様式が採用された。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

(各 2 点=10 点)

3) バロック時代の器楽について、次の文章を完成させよう。[知]

器楽の分野では、協奏曲が誕生し発展した。(ア)と独奏が(イ)的に扱われ、音の強弱や音色の(イ)がそれまでの音楽にはなかった躍動感を生み出した。協奏曲はその後、(ウ)派、ロマン派へと引き継がれさらなる発展を遂げる。

バロック時代にオペラや協奏曲が盛んに演奏された背景には、(エ)属の発展がある。(エ)属の標準的な形状は 16 世紀半ばに北イタリアの(オ)で完成され、現在までほとんど形が変わっていない。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

4) モノディー様式に注目しながら〈麗しのアマリッリ〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。[主/思・判・表]

(8 点)

5) 総奏と独奏の強弱や音色の対比に注目しながら《調和の靈感》から第 8 番 第 1 楽章を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。[主/思・判・表]

(8 点)

② 「西洋音楽史」の「バロック②」(教 P.122) の音楽について、次の問いに答えよう。

1) 次の文章を完成させよう。[知]

(各 2 点=20 点)

ヨーロッパの有力な王侯貴族の(ア)では、音楽文化が発達した。中でもフランスのバリエ(イ)宮殿では日夜演奏会が催され、宮廷文化が花開いていた。宮殿では、(ウ)のオペラやバレエ、F.クーブラン、ラモーなどの作品が多数演奏された。

(エ)やオルガンなどの鍵盤楽器は、通奏低音を担当する楽器として(オ)で重要な地位を占めていた一方で、(カ)楽器としても扱われるようになった。イタリアでは、オルガン曲集《音楽の花束》を作曲した(キ)やスペイン王妃の音楽教師を務めた(ク)が、フランスでは F.クーブランが、ドイツでは J.S.バッハなどが鍵盤楽器のための作品を多く残し、新しいジャンルを開拓した。

また、いくつかの(ケ)などを組み合わせた器楽作品である「(コ)」というジャンルも生み出された。17 世紀中頃、性格の異なる 4 種の(ケ)を基本に、他の(ケ)などを組み合わせてつくる(コ)が定着した。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	

2) バッハの音楽の魅力を味わおう。(教 P.123) [主/思・判・表]

(1) 解放弦の響きがどのように生かされているかに注目しながら〈前奏曲〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。

(8 点)

(2) 冒頭の旋律とコラールの対比に注目しながらコラール〈主よ、人の望みの喜びを〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。

(8 点)

③ 「メヌエット」を演奏しよう。

(各 2 点=6 点)

1) 「メヌエット」(教 P.63) について、次の文章を完成させよう。[知]

メヌエットは、バロック時代に(ア)の宮廷で流行した(イ)拍子の舞曲で、男女のペアで踊られる。(ウ)や交響曲にも取り入れられた。

ア	
イ	
ウ	

演奏したら○で囲もう。(6 点)

2)	メヌエットの演奏
----	----------

2) ソプラノ・リコーダーで「メヌエット」(教 P.74) のパート 1 を演奏しよう。[主]

3) 演奏して感じたことや、どのように演奏するとよいか考えたことを書こう。[思・判・表/主]。

(6 点)